

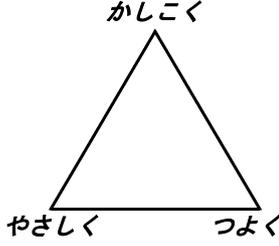
○本校のミッション(使命, 存在意義)

- 「やさしさ・かしこさ・つよさ」のバランスのとれた児童の育成に努める。
- 自分や友だちが好き、学校が好き、円城が好きといえる子どもを育てる。
- 地域学習や人材活用を通して、地域に学び、**地域と共に子どもを育てる学校づくり**に努める。
- 開かれた学校づくり、保護者や地域から**信頼される学校づくり**に努める。
- 人権教育・特別支援教育の視点**を基に、基礎基本を大切に、児童の学力保障に努める。
- 教育環境の整備、安全な環境の設定、望ましい生活習慣の確立、挨拶の励行や校内掲示の工夫など**子どもたちの心を育てる環境づくり**に努める。

○内外の環境分析

- <校内について>
- ・児童数60名、全校8学級の小規模校である。
 - ・保護者は、学校の取組をおおむね肯定的に捉え、協力的であるが、家庭環境に配慮を要する家庭も多く、社会的背景を理解した個別の対応が求められている。
 - ・**関係機関(SSW・SC・町保健課・町子育て推進課・児童相談所・県総合教育センター等)と連携した支援を必要とする児童・家庭が増加している。**
 - ・**特別活動、学校全体の集団づくりの取組等**をとおして、話し合い活動が充実したり、自己の課題への気づきが芽生え、**自己有用感が高まりつつある。**
 - ・教職員は、児童のよりよい成長を願い、学校教育目標達成に対する使命感や情熱をもって職務遂行にあたっている。また、教育活動の土台の取組への理解も深まっている。
- <地域について>
- ・豊かな自然環境に恵まれ、学習素材が豊富にある。
 - ・**地域は学校に対して協力的で、学校教育を支えて下さる人材も多い。**
 - ・**他地域からの移住家庭、祖父母宅へ転入家庭等、多様な生き方・職業・事情をもつ家庭がある。**
 - ・百姓王国・道の駅・福祉施設・公民館・青パトなどを中心に学校への支援やボランティア活動に大変協力的である。
 - ・**令和5年度は3園からの入学児童があり、こ保幼～小学校の育ちをスムーズに継続させる必要がある。**

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン

- <学校教育目標> ○ **みんなでめざそう やさしく・かしこく・つよく**
 —豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成—
- <めざす学校像> ○児童・保護者・地域・保こ幼中とのつながりを大切に、**信頼される学校**
 ○児童一人一人が大切にされる、わかる喜び、学ぶ楽しさが実感できる学校
- <めざす児童像> ○やさしく<人間関係力>
 「相手を思いやる子」
 ○かしこく<学力>
 「自分から進んで学ぶ子」
 ○つよく<健康・体力向上>
 「進んで健康な生活や運動に取り組む子」
- <めざす教職員像> ○対象から学び、子ども・保護者とともに育つ教職員
 ○連携・協働し、組織的に職務を遂行する教職員
 ○**3つの信頼(児童、保護者・地域、職場)**を大切にする教職員
- 

○円城小学校の「働き方改革」3つの視点

- ①時間意識を明確にもつ日常業務自己管理と会議・研修等の効率的・精選的運営の徹底
- ②「ワーク・ライフ・バランス」が実現できる「声」と「支え合い」の徹底
- ③「定時退庁日(月1日)」「最終退庁時刻(19:30)」の徹底

☆**円城小学校教育の土台として、全教職員が常に取り組み実践内容**

- 多角的児童・保護者理解（特に社会的背景理解に重点をおく）に基づく、児童と教師の良好な関係づくり及び個に応じた児童（家庭）支援の実践
 - インクルーシブ教育の理念に基づく学校（人的・物的）環境づくりと「違いを豊かさに変える（正しく知り、正しく行動する力を育てる）」実践
- 上記の日常的実践をとおして、児童や保護者の心の奥のストレス解消を支援し、信頼感・信用を高めることで、心の土台ができ、学校が安全基地となるようにする。そんな教職員となり、そんな学校をつくる。

○**当該年度の具体的な学校経営目標・計画**

◎**指導の重点1～3は、3部会・各学年学級の取組として、PDCAサイクルにより実践する。**

〈**指導の重点1**〉**「確かな学力」の向上をめざす**

- 学習への関心意欲の喚起・場の設定
 - ・児童の実態に即した授業づくり ・個のニーズに応じた指導の充実
 - ・基礎基本の確実な定着への取組 ・朝学、放課後学習の充実
 - ・話し合い活動の充実
- 授業力向上・授業改善
 - ・1時間1時間の授業の充実（岡山型学習指導のスタンダードの実践）
- 家庭・地域との連携・協働
 - ・家庭学習の充実 家庭学習習慣の確立（家庭学習スタンダードの奨励）
 - ・地域に生きる人との出会いを大切に学習の充実
 - ・ゲストティーチャーの生き方からの学び、体験学習の充実

〈**指導の重点2**〉**「違い」を認め合う豊かな人間関係の育成に努める**

- 多角的児童理解と良好な人間関係の構築
 - ・晩会等での児童についての情報共有と共通行動・教育的井戸端会議の充実
 - ・全ての児童の居場所がある学級経営・学校経営
 - ・教育相談アンケートやアセス等の実施、活用。
 - ・ねらいを明確にした縦割り班育成
- 規範意識の醸成
 - ・礼儀・マナーの徹底（「あいさつ・返事」が当たり前になれる習慣づくり）
 - 「本当の気持ちと出会い、子どもをつなぐ」児童支援の充実
 - ・問題行動発生時→早期発見、即組織対応、「スッキリ下校」
 - ・児童の問題発生時の対応力強化とスタンダード化
- 読書活動の充実
 - ・図書館教育の充実、読書環境の整備、外部団体の活用
 - ・図書委員会の活動（読書集会・読書環境）
- 人権教育・道徳教育・特別支援教育の充実
 - ・「自分や他者が大切にされている」と実感できる環境づくり（人的環境・言語環境・気持ちの見える化等）
 - ・「自分からできる」あいさつ・返事の推進
 - ・メディア正しい利用指導

〈**指導の重点3**〉**体力・健康（自己管理能力）の向上を図る**

- 基本的な生活習慣の確立
 - ・パワチャレの工夫と実施 ・P T A、すこやか委員会との協働による取組
 - ・食に関する指導や保健指導の充実
- 心と体の体力づくり
 - ・体育授業の充実
 - ・外遊びの奨励（業間・昼休み・放課後）による体力向上
 - ・運動能力の向上
- 安全意識・実践力の向上
 - ・登下校指導、安全点検の徹底 ・実践力を高める避難訓練の工夫と実践
 - ・危機管理（食物アレルギー・食中毒・引き渡し訓練） ・交通マナーの指導
 - ・青パト・P T Aや地域と協力した安全指導

〈**指導の重点4**〉**連携を大切にし、信頼される学校づくりに努める**

- 保護者・地域への情報公開
 - ・情報発信の充実（学校だより・ホームページ・保健だより・学級通信・報道機関・その他、メール配信）
 - ・参観日での、学級懇談や全体会による学校教育の状況説明の充実
 - ・運動会、学習発表会、参観日の計画的設定
- 地域人材等との連携
 - ・地域学校協働活動事業の計画的運用、充実 ・学校運営協議会の充実
- 保護者・地域・校種間・関係機関との連携の充実
 - ・地域行事への参加
 - ・「成長を喜び合う」家庭連絡の充実や個に応じた家庭対応・保護者支援の充実
 - ・保こ幼中との日常的連携、接続、引継ぎの充実
 - ・関係機関との連携の促進による「チームとしての学校力」の育成
 - ・統合に向けた連携事業による小学校同士の連携の充実